

古びることのない新しさ

コリントの信徒への手紙Ⅱ五章11～21節

だから、誰でもキリストにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去り、まさに新しいものが生じたのです。(17)

世のあらゆるものが過ぎ去っていく中で、パウロはここで古びることのない新しさを語ります。それはキリストによって生まれ変わった者たちが持つ新しさです。キリストを信じるということは、神によつて「新しく造られた者」となることです。ここでの表現は、その結果がずっと継続しているという表現です。新しくなつたものの再び古くなつたというのではなく、ずっと新しいままでいるということです。命の質が変わるからです。神によつて生かされ、日ごとに新しい命が注がれる者となることです。「私たちの内なる人は日々、新しくされていきます」(四16)と語られたとおりです。それは私たちを生かしておられる神は決して古びることなどないからです。まもなく新しい年を迎えるとしていますが、時が経つても古びることのない内面の新しさを私たちの内に保つていたいものです。